

# 磐梯山に関する火山情報について

## 磐梯山で発生が予想される噴火と主な火山災害

磐梯山の過去の噴火の特徴から3つの噴火形態を設定しました。各噴火形態の発生頻度、噴火規模、発生する現象は次のとおりです。

噴火形態	小規模水蒸気噴火	水蒸気噴火	マグマ噴火
発生頻度	過去1万年以内に多数発生	過去1万年以内に8回発生	過去1万年以内に1回発生
想定規模	100万m <sup>3</sup> (御嶽山2014年噴火と同程度)	3000万m <sup>3</sup> (磐梯山1888年噴火と同程度)	3000万m <sup>3</sup> (磐梯山1888年噴火と同程度)
発生現象	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな噴石</li> <li>降灰、小さな噴石</li> <li>降灰後の土石流</li> <li>火口噴出型泥流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな噴石</li> <li>降灰、小さな噴石</li> <li>火砕サージ</li> <li>降灰後の土石流</li> <li>火口噴出型泥流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな噴石</li> <li>降灰、小さな噴石</li> <li>火砕サージ</li> <li>融雪型火山泥流(積雪期)</li> <li>降灰後の土石流</li> <li>火口噴出型泥流</li> </ul>

### ●水蒸気噴火

地下深くにある地下水が、マグマ等の熱で温められて水蒸気となり、その圧力で一気に爆発する現象です。噴火に伴って火口から火山灰や大きな噴石などが放出されます。

### ●マグマ噴火

地下から上昇してきたマグマが地表に放出される現象です。噴火に伴って火口から火山灰や大きな噴石などが放出されます。

## 磐梯山の噴火警戒レベル

種別	予報警報	対象範囲	レベル	火山活動の状況	住民等の行動	登山者・入山者等への対応	想定される現象等
特別警報	噴火警報(居住地域)	居住地域およびそれより火口側	5(避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	(入山規制)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模噴火の発生。</li> <li>噴火に伴う融雪型火山泥流が居住地域まで到達、あるいはそのような噴火が切迫している。</li> </ul>
			4(避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される。(可能性が高まっている)	警戒が必要な居住地域での避難準備、要配慮者の避難等が必要。		<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模噴火発生の可能性。</li> <li>噴火に伴う融雪型火山泥流が発生し、噴火がさらに継続した場合、居住地域まで到達すると予想される。</li> </ul>
警報	噴火警報(火口周辺)	火口から居住地域近くまで	3(入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活。状況に応じて要配慮者の避難準備。	登山禁止、入山規制等危険な地域への立入規制等。	<ul style="list-style-type: none"> <li>中規模噴火が発生し、火口から概ね3km以内に噴石飛散。</li> <li>中規模噴火の発生が予想される。</li> </ul>
		火口周辺	2(火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活。	火口周辺への立入規制等。	<ul style="list-style-type: none"> <li>小規模噴火が発生し、火口から概ね1km以内に噴石飛散。</li> <li>小規模噴火の発生が予想される。</li> </ul>
予報	噴火予報	火口内等	1(活火山あることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状況によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる。(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)		状況に応じて火口内への立入規制等。	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の状態</li> </ul>

# 磐梯山に関する火山情報について

## 磐梯山火山ハザードマップ (マグマ噴火)

湯川村では、磐梯山がマグマ噴火した場合に融雪型火山泥流と降灰による被害の発生が予想されます。  
 ※降灰については、水蒸気噴火でもマグマ噴火と同程度の被害の発生が予想されます。

### 融雪型火山泥流 火口周辺に積雪が多くあるときに噴火に続いて発生します。

積雪期に噴火したとき、噴火の熱で火口周辺の雪が急速に融けて大量の水になり、溪流沿いの土砂や樹木を巻き込んで一気に流れ下る現象です。破壊力が大きく、また、広範囲に氾濫しやすいため大きな被害が発生しやすくなります。融雪による火山泥流は、噴火の熱量や積雪量などによって発生する量が大きく変化します。

### マグマ噴火の火山ハザードマップ



### 〈凡例〉

- 想定火口範囲
  - 大きな噴石
  - 降灰(西風の場合)  
※想定火口範囲の中心から噴火した場合
  - 降灰(西風以外の場合)  
※想定火口範囲の縁から噴火した場合
  - 火砕サージ  
※高温の噴出物やガスが混合して高速で下流へ流れる現象
  - ← 火砕サージの流下方向
  - 市町村境
  - 国道
  - 高速道路
  - 鉄道
- 融雪型火山泥流の浸水高 (目安となる氾濫水深)
- 2m以上
  - 2m未満~50cm以上
  - 50cm未満 (大人のひざ上)

### 湯川村における融雪型火山泥流予想図

